

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。2025年も、より一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

今年もふるさと支援まごころ宅急便を別紙のとおり開催いたします。物価高騰の折、新鮮で美味しい故郷の野菜などを味わってください。宅急便送料は無料です。**詳細は別紙参照**

紅葉狩り・ふるさと会一泊旅行(11/4~11/5)報告

天候に恵まれ、両日とも最高の旅行日和でした。ハンターマウンテン塩原は11/5よりスキー場へ衣替えのため、ゴンドラは4日が最終日でした。標高1,643m迄一気に登るゴンドラからの景観(右写真)は素晴らしかった。もみじラインを通り瀬戸合狭を巡り、早目に家康の里・大野屋に着き温泉で汗を流し、美味しい料理やどぶろくを頂き、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。その後はカラオケで喉を競い合い、矢祭人の歌の上手さに感心!!翌日は九時出発で、大笹牧場に寄り牛肉等の土産品を買求め、日光田母沢御用邸にむかいました。



第21回菊池利次個展(画名:KIKURI)12/9~12/15:ギャラリー小径

12/13,緑川会長・立花副会長、深谷の三人が「第21回キクリ展」に行き素晴らしい絵の数々を堪能してきました。地元の方々が訪れ、熱心に絵を見たり画伯に質問していました。

作品の中には売約済みの赤札が貼られてあるのも有り、人気の高さが伺えます。今年は12月に有楽町交通会館地下で個展を開く予定です。お楽しみに!!



お近くの直売所に、来らっしょ!! コロナ禍で開催が不規則ですので、確認の上おいで下さい。

※開店は9:30~10:00から15:00頃迄、売切れ次第終了。**東北最南端の小さくても大きな町の農産物直売所**

首都圏
[矢祭もっ
たいない
市場]の
農産物
直売所

- 毎月第2・第4日曜日【武蔵小山温泉 清水湯駐車場】品川区小山3-9-1(東急目黒線 武蔵小山駅東口徒歩5分)
- 毎月第3日曜日【城南信金大井支店】品川区大井1-6-10(JR京浜東北線 大井町駅徒歩1分)
- 毎月第1日曜日【城南信金品川支店】品川区南品川1-4-25(京浜急行 新馬場駅徒歩7分)
- 毎月第4水曜日【三島神社境内】台東区下谷3-7-5(地下鉄日比谷線 入谷駅4番出口より徒歩8分)
- 毎月第2水曜日【千束稻荷神社境内】台東区竜泉2-19-3(地下鉄日比谷線 三ノ輪駅下車徒歩5分)
- 毎月第1・3火曜日【昭和橋商店会】江東区亀戸6-43-1(JR総武線亀戸駅東500m/都営バス亀戸六丁目)



お問い合わせ

矢祭町特産品開発協議会 ☎0247-46-3272

〒963-5118矢祭町大字東館字館本52

奥州陸奥の国（磐城の国）白川郡「下石井村」

その昔、下石井村は高野郷大内村であり、元和期（一六一五〜一六二三）のころから「下石井村」と称す明治の初期から「石井村」の大字となりその後、明治三二年までの村名である。

昭和三〇年豊里村、石井村、高城村のうち内川、関岡、茗荷村が「矢祭村」を結成し大字下石井となる。昭和三八年町制施行により「矢祭町」の大字下石井となった。

地勢

東は木野反村、湯岐村と富士見峠を境とし、南は宝坂村・金沢村・戸塚村字三森山より南沢、前ヶ作、宮、大内沢、雁小屋までの嶺、沢、耕地を境とし戸塚村に接す。

西は関岡村と字雁小屋より下中田、向新田、御殿河原までの耕地、久慈川の中央を境として関岡村、植村に接す。

北は中石井村と字反河原そりがわらより城衆内、深作、舟ヶ沢までの耕地、嶺を境とする。

東北は富士見山、南は三森山、西は耕地で久慈川に接する。運輸便ありて、薪炭乏しからず。

反河原そりがわら、城衆内、上河原、仲、御殿河原、向新田、藍向よしみう、駒橋、下中田、雁小屋がんこや、大内沢（八幡神社）、「

細内、前ヶ作（八幡神社の南）、寄居、頭屋、腸ヶ作がらがさく、沼畑細内、中ノ内、宮内、石畑、入山、前並、

一ノ沢、萩平、若宮

地勢

東西一里六丁、南北一里 田 四一町六反八畝 畑 五五町七畝

戸数 本籍 八〇戸（士族一戸）、平民七九戸、社六戸、寺二戸 五六〇人（男一八七、女一七三）、

馬一四〇疋 渡船 一艘（下石井植田村（部落）所有）「久慈川の渡し」と称す

山

富士見山、村の東にあり高さ一〇〇丈（三九五m）嶺より東は木野反村、西は下石井村、北は上井村の九ツ山に連なる。南は下関河内村無漏山に連なる。

※（昔、下石井村に千手観音を見つけ、ふじみ山のふもとに祠を建置すると、参詣者多数あり多いにはやると古文書にある）

三森山、高さ一〇〇丈（三九五m）巽（辰巳）方向にあり、山頂より三方に別れ東は宝坂村に、

南は金沢村に属し西北は下石井に属す。

大内沢、富士見山より流れ出し長さ一〇丁あり、田圃一丁歩の用水なり

沼畑沢、三森山より流出て一六丁、幅一間半、田圃の用水なり

大堀、中石井村の久慈川を堰き止め用水をつくり「大堀」と称す。村の用水なり

萩平地、東西一五間、南に三〇間の池あり、用水なり

水戸街道、西方の植田村境より南方の戸塚村方向に至る巾二間の街道なり

（大内沢から久慈川に至る土堤道、磐城往還を左に曲がり「久慈川の渡し」
（渡舟）で反対側の関岡村と植田村境に至る街道をいう。）

磐城往還、里道で、北方中石井村境より南方戸塚村境の大内沢に至る巾二間の街道なり

神社・仏閣

八幡神社、下石井字若宮にあり、一反七畝の敷地あり。「誉田別命」を祀る。三月一日

祭日。天喜二年（一〇五八）軍馬ねぎまヲ犒せイ清冽せいれつナ寒水ヲ汲ミ、巖中神象ニ類ス魂巖穩頭スル奇瑞ニ感激シテ、社ヲ創建ス」と古文書にある。以下次号